

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	77	豊田市立 浄水北小 学校	代表	岩月由紀子
------	----	--------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域への誇りと愛着をもつ児童の育成	分野	b	地域連携
サブテーマ	— 地域とつながる活動を通して —	i(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点(ねらい)	本校は、地域共働型学校として生まれて以来、地域ぐるみの教育を推進してきた。地域の力を生かし、地域に学ぶことにより、「ふるさと浄水」に誇りと愛着をもち、自ら行動する児童を育成する。 ・地域とつながる活動を通して、「この学校に通ってよかった」「この地域に住んでよかった」という思いを深める。 ・地域の自然や文化、歴史等を対象とする学習を展開することを通して、地域のよさに気づき、地域への愛着を醸成する。 ・地域の人から学び交流することを通して、学習を深めるとともに、地域の人への感謝の気持ちを持ち、それを表せるようにする。 ・浄水小・浄水中と連携することを通して、より多様な考えに触れたり、学習を深めたりして、同じ地域の仲間として協力しようという意識を高める。 ・児童が調べたことをまとめたり、学んだことを地域に発信したりする力を育てるために、図書館資料の活用を推進する。 ・これらの活動を支える基盤として、児童が安全で落ち着いた学校生活を送れるように、校内の環境整備をする。			
活動内容・計画	①授業等における地域連携 ・主に総合的な学習の時間や生活科で、地域の様々な人・ものを取り上げたり活用したりする授業を展開する。 ・地域の方を講師に招いたり、地域学校共働本部と連携して活動を行ったりしていく。 （授業での地域講師、読み聞かせ、クラブ外部講師など） ・クラブ活動を充実させるため、必要な道具や備品を揃えていく。 ・お世話になった方に感謝の気持ちを伝える活動(会・手紙・あいさつ)を展開する。 ②学校林「まごころの森」・伊保川を題材にした体験活動 ・季節を体感する活動を計画的に実施する。 ・森の整備について学ぶ。 ・まごころ発表会など学びの発表の場をつくる。 ③メディアセンター(図書館)・ICTの積極的な活用 ・情報収集やまとめる力を身につける。 ・学校図書館司書を活用して、必要な書籍を用意することで効率的に情報収集できるようにする。 ・ICTを活用して、情報を収集し、まとめ、発信する機会を多くもつ。 ④浄水小・浄水中との連携 ・授業や行事での効果的な連携を行う。			
補助員配置	・校内整備員 ・学校図書館司書			
実績・期待される効果	・自分たちの住んでいる地域に対して誇りや愛着をもつ児童を育てることができる。 ・地域の方の地域を大切にしたいにふれ、地域や人を思いやるまごころを育むことができる。 ・お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを表したり、あいさつができるようになったりすることが期待できる。 ・主体的に活動しようとする意欲を高め、説明力を身に付けることができる。			
検証方法	・生活科・総合的な学習のポートフォリオをもとに、児童の変容を検証する。 ・「まごころ発表会」の発表やその振り返りから、1年間の取組の成果を確認する。 ・保護者アンケートや学校外部評価、教職員自己評価をもとに、ねらいにせまれたかを検証する。			